◇　◇　第二種研究会開催案内　◇　◇

●第 2 回集積光デバイスと応用技術研究会

委員長　横井秀樹（芝浦工大）　副委員長　馬場俊彦（横浜国大）
日時　平成 27 年 10 月 23 日（金）　13：30～17：15
会場　横浜国立大学電子情報工学科棟 4 階演習室 I（404 号室）（横浜市保土ケ谷区常盤台 79-5．http://www.ieice.org/~ipd/jpn/access_YNU.pdf）
テーマ：レーザセンシング及びテラヘルツ帯応用技術の進展
概要
　レーザ光を用いたセンシング技術は 3D イメージング，人体観測やガス検知など応用分野が飛躍的に広がっています．また，光と電波の境界領域にあるテラヘルツ波及びテラヘルツ帯の分野は，イメージング，分光や通信へと活用が広がっています．これらの技術では，今までにない分光技術やイメージング技術の研究開発が，活発に行われ，通信，環境計測分野，材料分野，バイオテクノロジーや医療分野等多岐にわたる分野での画期的な応用が期待されています．これらを踏まえ，本研究会は，レーザセンシング及びテラヘルツ帯応用技術の進展に関連する技術の発展，研究者間の交流の機会となることを目的としています．
　第 2 回集積光デバイスと応用技術研究会では，上記のような，レーザセンシング及びテラヘルツ帯応用技術に関連する講演会を行います．多数の方の御参加をお待ちしています．
プログラム予定
〔招待講演〕　ファイバ無線による THz 帯高速通信技術　　菅野敦史（NICT）
〔招待講演〕　小型ヘッドを用いたテラヘルツイメージングシステムの開発
　　山口　淳（パイオニア）・向井俊和（ローム）
〔招待講演〕　三菱電機における 3D イメージングレーザセンサの開発　　今城勝治（三菱電機）
〔招待講演〕　レーザによるガスセンシング技術と安定同位体比分析への応用
　　吉村了行（NTT デバイスイノベーションセンタ）
〔招待講演〕　光による人体観測　　吉國裕三（北里大）
〔フリーディスカッション〕
参加資格　特に問いません．
参加申込　研究会開催当日，会場にて受け付けます（事前申し込み不要）．
参 加 費　一般参加者 5,000 円，学生 1,000 円
【研究会に関する問合先】　第 2 回研究会担当委員
　石村栄太郎（三菱電機）
　　TEL〔072〕784-7394
　　E-mail：Ishimura.Eitaro@da.MitsubishiElectric.co.jp
【その他の研究会一般に関する問合先】　幹事
　清水大雅（東京農工大）
　　TEL〔042〕388-7996
　　E-mail：h-shmz@cc.tuat.ac.jp
主催　集積光デバイスと応用技術時限研究専門委員会

●第 1 回コミュニケーションクオリティ（CQ）基礎講座ワークショップ

実行委員長　高橋　玲（NTT）
テーマ「ワイヤレス環境におけるコミュニケーションクオリティ」
　コミュニケーションクオリティ（CQ）研究会では，サービス品質（QoS），ユーザ体感品質（QoE），QoS/QoE の評価／計測手法，QoS/QoE に基づくネットワーク制御等，広く「通信品質」に関連する研究分野を対象として，これまで多種多様な研究内容について活発な議論を続けてきました．これらの中でも「無線通信品質」は，CQ 研究会で数多くの研究発表がなされている研究トピックの一つであり，電子情報通信学会総合大会，ソサイエティ大会においても無線通信品質に関する様々な企画セッションを実施してきました．
　しかし，CQ 研究会で発表されている技術は，個々の分野での議論にとどまっている場合が多く，「無線通信品質」というキーワードの下に各研究機関・大学等で学術的な技術を共有する CQ 研究会本来の目的は必ずしも達成できていないのが現状です．そこで，無線通信品質の研究分野の確立を図ることを目的として，コミュニケーションクオリティ

（CQ）基礎講座ワークショップ―ワイヤレス環境におけるコミュニケーションクオリティ―を企画します．

本ワークショップでは，主に，次世代無線通信技術として注目されている第5世代移動通信（5G）に関する特別招待講演を企画することにより，無線通信技術の新たな方向性を探求します．また，通信品質と無線通信技術の学術的（基礎的）な知識を再確認，及び深めるためのチュートリアル講演や，CQ研究会の主要研究テーマでもあるQoE評価／計測技術に関するチュートリアル講演を企画します．これらの企画により，無線・有線を問わず通信品質の学術的観点から基礎知識と技術の習得が期待できます．更に，CQ研究会の活性化を図るために，若手の研究者，学生によるポスターセッションを同時に実施します．

日時　平成27年10月30日（金）　10：30～18：30

会場　大阪市立大学文化交流センター（https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/institution/bunko/）

プログラム

以下のセッションを計画しています．なお，スケジュール等は変更になる場合があります．最新情報はCQ研究会ホームページ「コミュニケーションクオリティ（CQ）基礎講座ワークショップ―ワイヤレス環境におけるコミュニケーションクオリティ―」（http://www.ieice.org/cs/cq/jpn/cq_workshop/）の「詳細プログラム」（http://www.ieice.org/cs/cq/jpn/cq_workshop/program.html）にて御確認下さい．

特別招待講演セッション〔座長：眞田　俊（慶大）〕

1．移動無線通信の発展と第5世代ネットワークの実現に向けた課題　　安達文幸（東北大）

2．よりスマートな無線通信システムへの期待　　笹瀬　巌（慶大）

午後（13：20～）

ポスターセッション1

チュートリアル講演セッション1〔座長：松田崇弘（阪大）〕

3．QoEの評価・計測について　　高橋　玲（NTT）

ポスターセッション2

チュートリアル講演セッション2〔座長：梅原大祐（京都工繊大）〕

4．MIMO伝送の基礎と無線LAN環境における通信効率　　西森健太郎（新潟大）・平栗健史（日本工大）

ポスター賞授賞式

【参加申し込み】

ワークショップへの参加を御希望される方は，ワークショップ実行委員会事務局までお申し込み下さい．参加申し込み方法及び参加費支払い方法については，ワークショップホームページ（http://www.ieice.org/cs/cq/jpn/cq_workshop/）を御参照下さい．

参加申込締切：10月16日（金）

参加費（予稿集込）

一般会員　10,000円　一般非会員　20,000円

学生会員　5,000円　学生非会員　10,000円

※会員とは，電子情報通信学会の会員を指します．

【ポスターセッションについて】

5G移動体通信，無線LAN，M2M・センサネットワーク，VANET，モバイルアプリケーションとサービス，QoE（Quality of Experience），SDN（Software-Defined Networking），映像／音声サービスの品質，ネットワークの品質・QoS制御，次世代／新世代ネットワークアーキテクチャ，及びそれらの品質と省電力化など，コミュニケーションクオリティ研究会に関するテーマ全般から，学生，若手研究者を対象にポスター発表を募集します（英語によるポスター発表も歓迎します）．ポスターセッションは2部で行われる予定です（第一部13：20～14：00，第二部15：50～16：30）．発表概要資料とポスターの著作権は著者に帰属します．ポスター発表者には以下の2点の準備が求められます．

（1）発表概要：電子情報通信学会の研究会原稿の様式に従い，発表概要（氏名，所属，連絡先を含めて1ページ以内）をPDFファイルで御提出下さい．研究会原稿の様式については，電子情報通信学会ホームページよりhttp://www.ieice.org/jpn/kenkyuukai/shorui.htmlを御参照下さい．

（2）ポスター：ポスター1件に対して，ポスター掲示用のパネルを1枚御用意します．パネルのサイズは210 cm×90 cm（A0サイズ・枠含む）を目安にして下さい．説明はパネルに掲示するポスターのみで行って下さい．PCを用いたデモや映像の提示はスペースや電源の制限のために行わないようにして下さい．

●ポスター賞：ポスターセッションにおいて発表されたポスターの中からポスター賞を選定し，その発表者を表彰致します．選定される技術報告の発表者は講演日時点で33歳以下とします．選奨規程，選奨の種類等の詳細についてはCQ研究専門委員会第二種研究会（QoSワークショップ）ポスター賞選奨規程http://www.ieice.org/cs/cq/jpn/award/qosws-award.htmlを御参照下さい．

【問合先】

平栗健史（日本工大）

E-mail：cq_ac-qos-ws@mail.ieice.org

主催　コミュニケーションクオリティ（CQ）基礎講座ワークショップ実行委員会
　　コミュニケーションクオリティ研究専門委員会

●第 58 回機能集積情報システム研究会

委員長　上浦尚武（兵庫県立大）
期日　平成 27 年 10 月 30 日（金）
会場　弘前大学理工学部 1 号館 5 階第 10 講義室（弘前市文京町 3．http://www.st.hirosaki-u.ac.jp/info/access.html）

本研究会は，ディペンダブルコンピューティング研究専門委員会の下での第二種研究会として開催します．本研究会は，平成 3 年に設置された「ウェーハスケール集積システム時限研究専門委員会」以降，複数の時限研究専門委員会の下での研究会を経て現在の研究会に引き継がれました．

近年の LSI 製造技術の進歩により，大規模かつ斬新な情報処理機能をシリコン・ウェーハあるいは大規模 IC チップ上に集積・実装する情報システム FIIS（Functional Integrated Information System）の構築技術が注目されています．そこで，本研究会では次に示す幅広い研究分野を対象としています．

まず，IC チップ製造段階では，チップの歩留まり解析，歩留まり向上設計法，レイアウト解析，フォールト・トレラント手法などがあげられます．また，IC チップ上の情報システム構築（SOC : System On Chip）技術としては，IC 内部の欠陥検出法（テスト手法や BIST : Build In Self Test）や誤り訂正・回復技術，故障を許容する高並列プロセッサや相互結合網の再構成方式，耐故障再構成可能情報システムの構築技術，動的再構成可能情報システムの構築技術，低消費電力技術などが挙げられます．更には，故障モデルの解析，信頼度解析，性能評価などの理論的解析手法も挙げられます．

本機能集積情報システム（FIIS）研究会は，上述したような技術を，応用分野の枠を超えた高性能・高信頼性・低消費電力のマイクロ情報システム実現のための強固な枠組みであると捉えています．本研究会では上記内容を中心としていますが，それらにとらわれず，各種応用研究を含めた広い研究分野からの研究発表を歓迎致します．

次回の第 58 回機能集積情報システム研究会は，弘前大学理工学部にて開催致します．皆様奮って御参加下さい．

プログラム

1. データ駆動型並列信号処理プロセッサの演算機能の拡張　　○出口宇宙・成田明子・一條健司（弘前大）
2. LSC-Based DSP における 4in4out ポート通信部の制御に関する検討
   ○佐々木浩典・成田明子・一條健司（弘前大）
3. 眼科における簡易入退室管理に関する一考察　　○上浦尚武・新居　学・湯本高行（兵庫県立大）
4. 拡張 2 次元メッシュ NoC に対する耐故障ルーティング法　　○福士　将・園田賢一（山口大）
5. 冗長トラフィック削減区間の動的変更のための新規 IP オプションの導入
   ○吉田智博・一條健司・成田明子（弘前大）
6. コンテンツ配信進度の差に対応した冗長トラフィック削減用ネットワークノードの評価
   ○横田　航・一條健司・成田明子（弘前大）
7. 部分一致列検索が可能なハッシュテーブルを用いた辞書式圧縮法の符号化・復号回路構成の検討
   ○勝　悠貴・金子晴彦（東工大）
8. 適応的消失訂正符号化とデータ圧縮を利用したディスクアレイの修復バンド幅の解析
   ○長谷川雄大・金子晴彦（東工大）

◎最新の情報は Web ページ（http://kaneko-www.cs.titech.ac.jp/fiis/）を御覧下さい．
◎研究会終了後に懇親会を予定しております．御参加を希望される方は，下記問合先まで御連絡下さい．
参加資格　特に制限はありません
参加費　1,000 円（会場でお支払い下さい．学生は無料です．）

【問合先】

福士　将（山口大大学院理工学研究科）
E-mail：mfukushi@yamaguchi-u.ac.jp

主催　ディペンダブルコンピューティング研究専門委員会

●アンテナ・伝搬における設計・解析手法ワークショップ（第 51 回）
「FDTD 法　基礎から最新技術まで」

実行委員長　新井宏之（横浜国大）

アンテナ・伝播研究専門委員会では，関連する研究専門委員会と連携して，1994 年度から第二種研究会として「アンテナ・伝搬における設計・解析手法ワークショップ」を開催して参りました．これは，アンテナ・伝搬研究者や技術者を主たる対象に，設計・解析力の向上を図ることを目的とするもので，これまでにモーメント法によるアンテナ解析，アレーアンテナの適応信号処理及び高分解能到来波推定法，移動通信における多重波伝搬理論，アンテナ測定法，人体ファントムとアンテナ評価技術，アレーアンテナ設計の基礎，メタマテリアルの基礎などをテーマに，これまで 49 回のワークショップを企画し好評を頂いております．

今回の第 51 回ワークショップでは，電磁界解析手法の一つである FDTD（Finite Difference Time Domain）法をテーマとして開催します．本講義は，基礎的な内容から，最新トピックスを含めた応用法について，詳しく説明し，実用的な技術の習得を目的とします．分野はアンテナ・伝播に限らず，電磁界理論，シミュレーション技術，環境電磁，光電磁，人体通信関係などと幅広く，これらの分野に役立つ知識の習得を目指します．

講師　有馬卓司（東京農工大）

講義内容

（1）　FDTD 法の基礎と特徴
（2）　吸収境界条件
（3）　FDTD 法における電磁界解析方法及びアンテナ解析手法
（4）　周期構造の解析
（5）　特殊媒質の解析
（6）　応用的な話題

上記の講習内容は，若干変更することもございますので御了承下さい．なお，テキストは受講者に約 3 週間前に配布され，予習して頂くことを前提としています．

日時　平成 27 年 11 月 24 日（火）　9：30〜17：00

会場　機械振興会館 B2-1 会議室（港区芝公園 3-5-8．JR 浜松町駅下車徒歩約 15 分，地下鉄日比谷線：神谷町駅下車徒歩約 8 分，地下鉄都営三田線：御成門駅下車徒歩約 6 分，東京タワー北側．http://www.jspmi.or.jp/kaigishitsu/access.html）

受講定員　70 名

受講料（テキスト代金を含み：税込）

一般／会員　15,000 円，非会員　25,000 円
学生／会員　 5,000 円，非会員　10,000 円

申し込み受け付け後，事務局から受講受付番号と受講料振り込み案内をお送りしますので，それに従って受講料をお支払い下さい．会員価格での受講を希望される方は，受講申込書に会員番号の記載が必要になりますので，御注意下さい．学会への入会手続き中の方は，学会へ提出した入会申込書のコピー等，入会を確認できる資料の提出をお願いします．会員／非会員の受講料の差額は，一般の方については電子情報通信学会年会費のほぼ 3/4，学生の方については年会費を上まわっております．非会員の方には，この機会に，電子情報通信学会への入会をお勧め致します．入会に関する情報は下記の URL を御参照下さい．

電子情報通信学会入会案内：http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html

受講申込み期間：8 月 24 日（月）〜10 月 7 日（水）

（先着順：満員になり次第締め切ります．期日前の申し込みは無効です．）

【受講申し込み方法】　下記 URL からお申し込み下さい．なお受講申込後 1 週間以内に事務局からの回答がない場合には，総務担当幹事へ申込受付確認の連絡をお願い致します．

http://www.ieice.org/cs/ap/jpn/index.php?ws/ws51

（上記 URL から，まえがきと目次，一部テキストの内容を PDF で確認できます．）

【問合先】

アンテナ・伝搬における設計・解析手法ワークショップ第 51 回実行委員会
総務担当幹事　中野雅之（KDDI 研）
TEL〔049〕278-7562，FAX〔049〕278-7343
E-mail：ap_ac-ws51secretary@mail.ieice.org

主催　アンテナ・伝播研究専門委員会

協賛　IEEE AP-S Tokyo Chapter